

登録コード	HM122900	開講年度	2026			
授業題目	精神医学論文演習				担当教員	鷲塚 伸介 他
英文授業名	Thesis Seminar in Psychiatric Research Papers				副担当	本田 秀夫・篠山 大明
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	
講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初					
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能 ⇄				精神医学研究に必要かつ重要な資料を探索できるようになる。	
(2)詳細/Detailed information	精神病理学から分子精神医学まで精神医学の扱う学問領域はまことに広大である。その中からいかに優れた論文を探しだし、読みこなすかを、精神医学特有の専門用語の解説も行いながら身につけることを目標とする。					
(3)授業の概要/Overview of course	基本的に抄読会形式をとる。 医学データベースを用いて優れた精神医学概論を検索する能力を習得する。また、精神医学に関する最新の学術論文を読み、その内容を第3者にプレゼンテーションする能力を身につける。					
(4)授業計画/Course plan	抄読会方式で、精神医学論文を批判的に読む能力、その内容を要約して判りやすく紹介できる能力を修得させる。主として精神病理・症候・治療領域に関する論文を取り上げる。【鷲塚伸介／第1回～第5回】					
	抄読会方式で、精神医学論文を批判的に読む能力、その内容を要約して判りやすく紹介できる能力を修得させる。主として児童精神医学領域および精神科疫学研究に関する論文を取り上げる。【本田秀夫／第6回～第10回】					
	抄読会方式で、精神医学論文を批判的に読む能力、その内容を要約して判りやすく紹介できる能力を修得させる。主として生物学的精神医学研究に関する論文を取り上げる。【篠山大明／第11回～第15回】					
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	受講生は毎回の授業で論文紹介の後、教員とディスカッションを行う。その論文の現在の精神医学の中の位置付け、新奇性と疑問点などの討論を通じて、紹介された論文に関する理解度を教員が評価する。自身で紹介した論文にとどまらず、他受講生の紹介論文についてのディスカッション内容も評価に組み込む。評価基準は以下のとおり。 自身の紹介した論文について理解していると判断されれば可、さらに他者の論文に関して適切に疑問点を質問できれば良、加えて、紹介論文にとどまらずそこから派生もしくは関連する研究論文についても把握していれば優、これら全てが教員を感心させるレベルにあれば秀とする。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	提示する論文について事前に教員と相談すること。わかりやすいプレゼンテーションができるようパワーポイント用いて発表できる環境を整備すること。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	オフィスアワー 毎週火曜日12：15～13：00					
(8)授業の形式/Course format	抄読会形式。					